

入試1か月前の効果の上がる学習方法とは

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

栃木県の県立高校の入学試験まで、あと1か月になりました。この放送をお聴きの皆さんの中には群馬県や茨城県の方もいらっしゃると思います。群馬県も茨城県も県立高校の入学試験まではあと1か月です。

そこで、何回も同じような話で恐縮ですが、県立高校の入学試験までのあと1か月をどのように過ごしたらよいかについて、今日はお話をさせていただきます。

2. 入試1か月前の効果の上がる学習方法とは

(1) 私の結論は、これぞという一冊の教材を復習のために1ページ目から音読練習をしたらよいのではないかということです。入学試験の勉強で大事なことは、これは中間テストや期末テストなど学校の定期テストでも同じですが、教材、できれば教科書をスミからスミまで一つ残らず覚えること、身に付けることです。そうすると、学校の定期テストなら100点が、入学試験でも8割から9割の点数が取れます。

(2) 教科書をはじめ教材と言われるものを一つ残らず身に付けるために一番有効なことは何か。教科書や参考書などの中から今自分はこの教科をこれで勉強しているのだという教材を決めて、それを1日1回は1ページ目から復習することです。まずは、自分はこの教科をこの教材で勉強するというものを一冊決めて下さい。教科書が一番いいです。参考書でやっている方もいらっしゃると思いますが、それでもいいです。とにかく、この教科はこの教材で勉強するというものを一つ決めていただいて、その教材については1ページ目から毎日毎日復習することが一番大事であると思います。

(3) 復習するときが一番有効な方法は何かと言いますと、音読練習、つまり声を出して読むことです。もし毎日は無理でしたら、自分で決めた教材を必ず1ページ目から今まで勉強して十分に理解し終えたページまでを声を出してゆっくりゆっくり読むこと、音読することがよいと思います。

(4) また、すべての科目で「意味調べノート」などと呼ばれるものを自分でお作りになっている方が多いと思います。もし、「意味調べノート」をまだ作っていない方は、今からでも是非お作り下さい。せっかく、お作りになった各科目の「意味調べノート」を御活用なさることも大事です。全科目とも意味のよくわからない語句や言葉は辞書や百科事典、用語集、各科目の学年別参考書などで調べて、調べたことを必ず各科目ごとの意味調べノート・語句調べノート・単語調べノートに記録することです。そして、そのノートを毎日1ページ目から繰り返し繰り返し音読してス

ミからスミまで覚えるとよいと思います。そのようにすると、意味のわかっている単語の数が増えますので、どんどん実力がつきます。このように、受験の前の日まで、できれば当日まで辞書を片手に意味調べをしてノートに記録し、その内容をすべて1ページ目から音読練習する。これが、学習内容が一番身に付く方法の一つです。

(5) 音読練習はどのレベルまでしたらよいのか。一つの目標はスラスラとよく読めるようになるまで音読練習をすることです。加えて、テキストの内容を一語一句すべて正確に覚え切ることでも大事です。まずはスラスラ読めるようになるまで音読練習をする。それからテキストの内容を一語一句すべて正確に覚え切る、教科書一冊をスミからスミまで覚え切る、何も見ないでスラスラ言えるようにする。そこまでしたほうがよいと思います。それができるようになってからも、尚且つ(なおかつ)、試験の当日まで1ページ目から最終ページまで音読練習し続けると、完全な理解、完全な定着が実現し、どのように難しい試験でも高得点を取ることができます。

(6) 入学試験の1か月前ですから、新しい問題集など新しい教材をやるのもいいですが、そうではなくて、このような方法で、一度やったものをスミからスミまで繰り返し繰り返し覚えることも素晴らしい勉強の仕方だと思います。

3. (1) ところで、先日、群馬県の邑楽町にお住まいの中学3年生の方から御質問がありました。高校1年生の勉強に非常に興味があって勉強をしたいのですが、どうしたらよいかということですが、私は、中学3年生であっても高校1年生の内容を勉強することに大賛成です。勉強していると頭が冴(さ)え渡ってきますので、次の学年の勉強もしたくなります。それを我慢しないで、できれば少し大きめの本屋さんに行って、高校1年生の一番やさしい参考書を英語、数学、理科、社会、国語の科目ごとに一冊ずつ買っていただき、3分の1ぐらいまでざっと読んでみることをお勧めします。数学は読むだけではわからないと思いますので、ノートを一冊用意して基本的な問題だけでいいですから実際にやってみる。このようにして、高校1年生の参考書を一冊買っていただいて、その3分の1ぐらいまでを勉強していただければと思います。最初のほうは計算などあまり難しくありませんので、3分の1ぐらいまでのやさしいところを頭が冴え渡っている今のうちに是非やって下さい。それだけでも素晴らしい予習になります。英語・国語・社会・理科は、ゆっくりゆっくりざっと読んでみるだけでよいと思います。

(2) 少し大きめの本屋さんに行くと、「もう一度学びなおす——」や「社会人のための——」などという書名のついた高校の教科書をやさしく書き直した本や、高校の教科書の指導書が主要科目について出版されていることがおわかりになると思います。自分の得意科目、興味のある科目だけでも高校の内容の教科書や参考書を買って求め、遠慮することなくどんどん勉強して下さいね。

(3) 今のうちにこのようなことをやっておくと高校の勉強が大好きになりますので、高校に入ってからとても勉強が進むと思います。そして、できれば高校1年生のゴールデンウィークが終わる頃までに、一番やさしい参考書をお終いのところまでざっと読んだり、数学は簡単な問題だけでいいですから解いてみたりすると、こんなによい勉強はありません。そういうことで、頭が冴え渡っている今のうちに高校の勉強を始めるとよいと思います。

また、推薦入試などで高等学校の入学が決まった方は、その日から今のような形で高校の勉強を始めると素晴らしい予習になります。高校に入る前に、そして入ってから1か月の間にど

のくらい高校1年生の勉強をしたかで、その学年の勉強の成果や成績が決まりますので、是非積極的にやって下さいね。よろしくお願いいたします。

(4) 高校生は得意科目、好きな科目だけでも大学の教科書をどんどん勉強すべきことは当然と言えます。大学の教科書は、少し大きめの本屋さんに行けば売っています。一番いいのは、自分が進学を希望する大学の本屋さんに行き、そこで進学を希望する学部や学科の教科書を買って求め、高校生のうちから少しずつ勉強してしまうことです。勉強するのに遠慮は要りません。好きな科目、興味のある科目は、小学生が中学生・高校生の、中学生が高校生や大学生の、高校生が大学生や大学院生の教科書を勉強することは素晴らしいことです。その人の潜在可能性、潜在能力を開花させることに結びつきます。

4. おわりに

眠る時間以外は机に向かう受験勉強が本格的になる受験1か月前は頭が冴え渡りますから、辞書を用いたり、音読練習をしたりだけではなく、進学先の教科書をどんどん勉強することをお勧めします。やる気を10倍、100倍にし、受験のエネルギーを倍増することに繋がりますよ。

— 2012年10月3日追記 —